

▼北陸

【富山】思わぬ歩こう会の下見

「ラン見学会」を開くため、3月末、富山市南部の高台に建つ県立中央農業高校へ下見に行ってきた。この高校は二つのゴルフ場に挟まれた36haもの広大な敷地を持ち、牛舎や実験棟、温室にハウス棟など沢山の実習施設が建ち並びます。

この日は春景色。富山県固有の桜を守る「バイオ増殖研究会」で活動している同校の松井照枝先生を訪ねての見学でしたが、校内は桜が満開。ソメイヨシノは勿論、バイオ技術で育てた桜が10品種、およそ千本あります。ピンク色の神代曙(じんだいあけぼの)やヤマザクラ、浄教寺でまり桜など、あまりにも優雅な美しさでした。



ミニビリアムとキンギアナム
交配種の命名は未定

続いて生物工学実験棟のガラス温室を見学。生徒たちが育てたオリジナルのシランやデンドロビウム、無菌育ちのミニカトレアに、花の形や色柄が株ごとに異なるミニ胡蝶蘭など、夢に向かったのチャレンジです。

注目は、寒さに強く香りのよいキンギアナムと、花のつきがよいミニデンファレとの交配品種。それぞれの個性を活かし、北陸の気候に順応させる試みで、富山の魅力品種にと成長が楽しみです。

【石川】4年ぶりの

総会・懇親会開催

福井、富山に続き、4月26日に北陸民放クラブ・石川の総会が金沢市内のホテルで開催されました。

総会では、会長や来賓の挨拶、理事長から前年度の活動報告、今後の活動計画についての提案、また会計から決算報告などが行われました。新型コロナウイルスの影響を受け、4年ぶりの対面の開催でしたが、会員の過半数を超える37名が出席。総会

後の懇親会では食事やドリンクを楽しみながら、お互いの近況や思い出話などを交わしました。久しぶりに対面でのイベントを楽しめたことは、参加者にとって非常に良い時間が持てたのではないかと思います。

今年度も、理事会や各同好会を中心に様々な企画を提案、また富山、福井の両県クラブとも連携して、会員の交流や情報交換の場として活動の輪を広げていきます。

【福井】待ちに待った総会開催

3年ぶりとなった北陸民放クラブ・福井の総会が4月19日、福井市内のホテルで開催されました。コロナが完全終息していないこともあつてか、参加者はいつもより少なめの41名でしたが、会員は久しぶりの再会を喜び合っていました。

事業報告、収支決算報告、役員改選など一連の議事の後の記念講演会では、一乗谷(いちじょうだに)朝倉遺跡保存協会の岸田清会長が「決断と行動に感謝」との演題で講演。

この遺跡が戦国城下町遺跡として残ったのは、当時、農地改革計画を中止してまで残そうと、多くの先人たちが頑張ってくれたおかげ。その後、国の特別史跡・特別名勝・重要文化財の三重指定をうける遺跡として今日に至っていると説いていました。

また、懇親会では、互いに近況を楽しく語り合いながら、今後の活動と再会を誓い合いました。石川の近藤副理事長、富山の森理事長、ゲスト参加ありが



石川の総会

福井の総会

